

学校教育目標	各科の目標	<p>1. 質素、忍耐、規律、思いやりを基軸とし、知性、学識、健康、道義、友情の形成を高揚する。</p> <p>2. 課程の如何を問わず、常時一人もれなく学習生活の目標をもった生徒の教育を遂行する。</p> <p>3. その他常に顧みて創立の精神に徹した教育を実践する。</p>	<p>普通科 一般コース</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一般的県立普通高校と同一の普通教科の履修。 2. 体育、文化面等に思い切り個性を伸ばし、幅広く楽しい高校生活の創造。 3. 事務系、実技系、あらゆる企業への完全就職。 4. 短大の推薦入学や、准看、美容、調理師等の国家資格取得校への進学。 5. 礼儀正しく、節度ある良識人の育成。 <p>普通科 進学コース</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 4年生大学、入試の厳しい高専、短大等への進学生であることの自覚と決意の継続。 2. 目標大学及びその受験科目を早期に自主決定すること。 3. 希望校への受験勉強に青春の情熱の一切を賭ける。(家庭学習5時間の確保) 4. 不断の努力と忍耐の成果として、確実に目標大学に合格する。 5. 日々の思索や学習態度を通じ将来、幅広い高度な人生を創造できる人材となる。
		<p>家庭科 被服コース</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 被服全般に関する広い知識を身につける。 2. 被服製作の技術を確実に身につける。 3. 被服関連企業への就職又は、技術自営の出来る技能者となる。 4. 女性としての良識を備え、豊かな家庭生活を支える人材となる。 	
		<p>社会福祉科</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 先ず、福祉の心、人間としての真の優しさを養う。 2. 福祉看護の基礎知識、基礎技術を身につける。 3. 介護福祉士の国家資格をとる。 4. 福祉関係職場に就職する。 5. 将来、福祉社会を支える人材となる。 	

A・・・よくできた B・・・できた C・・・あまりできなかった D・・・できなかった

領域	評価の観点	評価項目	実践目標と成果	A	B	C	D	無回答
学 校 運 営	開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信	<p>実践目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校のホームページを通じて、学校の情報を可能な限り公表し、月に一度は内容を更新する。 ・学校便り等を発行し、保護者に学校の情報を提供する。 	13%	50%	25%	0%	13%
		学校評議員制度等を活用した学校運営の推進	<p>実践目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評議委員会を学期に1回実施し、各委員から出された意見を吟味し、次学期の学校運営に反映させる。 ・学校評議員に授業や学校行事に参加していただき、それについての意見を聴取し、授業や行事の改善に役立てる。 	0%	0%	38%	25%	38%
		地域や関係機関と連携した安全な学校づくり	<p>実践目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や近隣の学校・関係諸機関との連携を密にし、不審者情報を共有する。 	13%	38%	25%	0%	25%
	生徒指導	生徒指導方針の確認と指導体制の推進	<p>実践目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に生徒指導方針を明確に職員、生徒に示し、定期的にその方針の達成状況を確認する。 ・問題行動の生徒に対しては、学年を中心に組織的に指導を行う。 ・校内巡視を適宜行う。 	25%	63%	0%	0%	13%
			<p>実践目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒とのコミュニケーションを密にするとともに、家庭と密接な連携を図り、必要であれば家庭訪問を行う。 ・カウンセラーによるカウンセリング研修を実施し、生徒の内面理解を図る指導態の共有を図る。 	25%	38%	25%	0%	13%
			<p>実践目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会が設定した課題について、生徒会を中心に討論会をもち、生徒の自立の意識を高める。 ・生徒会行事については、実行委員会を設置し、生徒が企画・運営を行う。 	25%	63%	0%	0%	13%
		薬物乱用防止、交通安全指導を行う	<p>実践目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師による講演。ホームルームや保健等で薬物乱用防止を徹底する。 ・交通マナーアップ指導の徹底を図る。 	13%	75%	0%	0%	13%

進路指導	進路指導体制の充実	実践目標	・3年間を見据えて、進路指導に関する年間計画を作成し、組織的・継続的に進路指導を実施する。 ・進路状況・結果について、進路指導部と各学年が連携し、分析・対策を検討する。	25%	38%	25%	0%	13%	
	職業観・勤労観の育成と進路意識の向上	実践目標	・外部講師による進路講演会を開催し、生徒の職業観、勤労観を高める。 ・「進路ニュース」等の発行により、生徒・保護者に進路情報を提供し、進路への意識を高める。	0%	63%	25%	0%	13%	
	主体的な進路選択能力の育成	実践目標	・3年間を見通して、職業や大学の研究を計画的に実施する。 ・ロングホームルームやその他の学習の時間等で、生徒に自らの生き方なり方を考えさせる。	0%	75%	13%	0%	13%	
学 校 運 営	教職員の 資質向上	実践的指導力の向上	実践目標	授業公開ができる体制を整える。	13%	25%	38%	13%	13%
		計画性を持った研修の実施	実践目標	・進路・教務・生徒指導等、学校の諸課題について校内研修を計画的に立案する。 ・教員が計画的に校外での研修を受ける体制を整える。	0%	50%	25%	13%	13%
		社会の変化に対応した教育観の育成	実践目標	・長期社会体験研修や、初任研・年次研修の社会体験研修等を活用し、社会の変化に的確に対応できる教員の育成に努める。 ・地域住民の意識やニーズを把握するためにアンケートを実施し、その結果の分析に基づいて対策を検討する。	0%	25%	50%	0%	25%
	特別支援教育の推進	スクールカウンセラーと連携しながら特別支援教育の充実を図る	実践目標	・特別支援の必要な生徒に対する対応の仕方を、全教職員で共通理解をする。 ・スクールカウンセラーの配属や相談体制が全校生徒に周知されている。	13%	38%	25%	0%	25%
危機管理 体制の整 備	実効ある学校マニュアルの策定	実践目標	・学校の実情に応じた危機管理マニュアルを作成し、定期的に対応訓練を行う。	0%	13%	50%	13%	25%	
	家庭・地域・関係機関と連携した危機管理体制の推進	実践目標	・家庭・地域・関係機関との連携を密にし、実情に応じた危機管理体制を推進する。	0%	25%	38%	13%	25%	
	生徒に対する防犯教育の充実	実践目標	・マニュアルに基づき、不審者の侵入などの危機的事態への適切な訓練を行う。	0%	0%	63%	13%	25%	
	教員の実践的な研修・訓練	実践目標	・危機への対応や生徒の心のケアについての研修を定期的に行う。	0%	13%	50%	13%	25%	
学校運営 全般	学年・学級経営	実践目標	・学校教育目標達成に向けた学年・学級の具体的経営方針を立て、その実施に努力する。 ・生徒の資料、指導・実践の記録等を蓄積し、教師間で情報交換を行う。 ・学級員の効果的な活用による活性化した学級運営を行う。 ・美化に心がけ、学習環境を整える。	13%	63%	13%	0%	13%	
		実践目標	・遅刻・欠席・早退・学力不振の早期把握に努め、進路指導部・生活指導部・カウンセラー・保護者と協力しながら中途退学の防止に努める。	0%	38%	50%	0%	13%	
保健・衛生教育	学習環境の美化を図る	実践目標	・生徒を中心として環境美化のための奉仕作業を行う。 ・広範囲の区域を能率良く行うために、全職員による監督の徹底を行い、学期毎に大掃除を実施する。	0%	75%	13%	0%	13%	
		実践目標	・従来の慣例に拠らない機能しやすい分掌組織をつくる。 ・それぞれの分掌における重点目標を年度当初に設定し、適宜、取り組みについて評価・見直しを行う。	0%	38%	50%	0%	13%	

保健・衛生教育	健康推進事業の充実	実践目標	心身に問題のある生徒を早期発見するために、カウンセラー、担任等との連携を密にし、早めの対処法を行う。	50%	38%	0%	0%	13%
		実践目標	保健室の整備を行う。					
保健・衛生教育	衛生管理指導の徹底	実践目標	保健だよりの内容を充実させ生徒の健康に対する意識の高揚を図る。	38%	38%	13%	0%	13%
		実践目標	飲食のマナーの指導をする。					
事務部	授業料納入促進及び長期滞納者の減少	実践目標	・事務職員と教育職員が連携・協力して取り組むため、担当者と担任との連絡会等を行う。	25%	25%	13%	0%	38%
		実践目標	・授業料の納期内納入率を向上させるため、保護者に対し、年3回啓発文書を発送し、納入率を高める。					
	教育環境を整備する	実践目標	・長期滞納者の滞納理由を速やかに把握し、経済的理由により学費負担が困難な生徒に対しては授業料減免等による負担軽減を図る。	13%	25%	38%	0%	25%
		実践目標	・教育設備等の安全点検を定期的実施し、その結果を記録すると同時に営繕工事計画の基礎資料として有効活用を図る。					
事務部	効率的な予算を執行する	実践目標	・労働安全・健康促進をはかり、また敷地内完全禁煙に努めると共に完全分煙を図る。	0%	13%	50%	0%	38%
		実践目標	・光熱水費 %削減を目指して省エネ・省資源を推進するとともに費用対効果を考慮した予算の執行に努める。					
PTCA活動	PTCAとの連携	実践目標	・学校行事や「あいさつ運動」等への積極的な参加協力により学校教育目標の具現化を図る。	0%	38%	38%	0%	25%
		実践目標	・授業参観や教育相談等の合同研修会により、学校を開き、ともに生徒理解に努める。					
		実践目標	・総会・役員会・委員会・学校行事等に参加できなかった保護者に対して情報を提供すると共に、意見を収集する。					
教	自ら学び考える力の育成	実践目標	・インターンシップやふれあい育児体験等の体験的な学習や、問題解決的な学習を推進する。	38%	38%	13%	0%	13%
		実践目標	・教科会議などを中心に体験的・問題解決的な学習の指導法を研究し、実施する。					
育	基礎・基本の定着	実践目標	・博物館や美術館等の社会教育施設との連携を図り、多様な学習機会を設定する。	13%	38%	38%	0%	13%
		実践目標	・学校設定教科・科目や多様な選択科目を設定し、興味・関心に応じた特色ある教育課程を編成する。					
課程	基礎・基本の定着	実践目標	・入学時に入学生の学力を客観的にはかるテストを行い、その結果に応じて習熟度別授業や少人数指導などの指導方法を工夫する。	0%	63%	25%	0%	13%
		実践目標	・各教科で評価基準を設定し、それに基づいた評価を行い、その正当性の検証を行う。					
教	個に応じた学習指導の徹底	実践目標	・各教科で授業研究を行い、生徒の興味関心を呼び起こす指導を工夫する。	0%	50%	25%	13%	13%
		実践目標	・各教科専門部会やその他の研修会に積極的に参加し、魅力的な授業づくりの工夫をする。					
教	個に応じた学習指導の徹底	実践目標	・生徒の自己評価など様々な評価方法の導入を図る。・評価方法について全職員で各教科の評価に対して意見交換を行う。	13%	13%	63%	0%	13%
		実践目標	・英語・数学等で習熟度別授業や少人数指導を実施し、個に応じた指導を行う。					
教	指導形態の工夫	実践目標	・各教科で個別指導、グループ指導、一斉指導など効果的な指導形態を研究実践する。	13%	75%	0%	0%	13%
		実践目標	・各教科で個別指導、グループ指導、一斉指導など効果的な指導形態を研究実践する。					

育 課 程	特別活動 (学校行事 など)	自主的・実践的な活動 の活性化	実践 目標	・部活動の活性化や、生徒会活動の積極的な運営をすすめる。 ・リーダー研修会等を通して核になる生徒を育成し、様々な活動への生徒の自主的な参画を促し、生徒会活動全体の活性化を図る。	13%	88%	0%	0%	0%
		学校行事の精選と行事 内容の充実	実践 目標	学校行事検討委員会を開催し、行事の精選や行事内容の充実を図る。	0%	63%	25%	0%	13%
		ボランティア活動	実践 目標	・地域ボランティア活動、献血、募金活動等への積極的参加を生徒会を中心に実施する。 P T A、教職員、地域住民、生徒で学校周辺地域の環境美化に努める。	0%	88%	13%	0%	0%
	体育・運 動能力の 向上	教育活動全体における 計画的な体育・スポー ツ活動の実施	実践 目標	・新体力テストを実施するなど、生徒の体力・運動能力を的確に把握し、3年間を見据えて生徒の体力・運動能力を向上させる学校行事等の計画を立てる。 ・体育大会や球技大会の後は職員・生徒のアンケートをとり、またその結果を次回に反映させる。	13%	38%	13%	0%	38%
生涯にわたる豊かなス ポーツライフ及び健康 増進の基礎を培う指導 の工夫		実践 目標	・生徒が自己の能力に応じた運動課題を設定し、その課題を自ら解決することによって、運動技能を設定し、その課題を自ら解決することによって、運動技能を習得したり、高めたりする喜びを味わうと共に、その運動の特性に応じた楽しさや喜びを味わえるよう工夫した指導を行う。 ・体づくり運動を積極的に取り入れ、体育理論との関連を深めながら自己の体力や生活に応じて、活力ある生活を支える体力を高めるよう努める。	25%	13%	25%	0%	38%	
芸術文化 活動	教育活動全体における 計画的な芸術文化活動 の実施	実践 目標	・芸能鑑賞などの芸術文化行事を計画的に実施する。・学園祭や文化祭等で文化部の発表の場を設ける。	25%	63%	0%	0%	13%	
防災・安 全教育	教員の実践的な研修・ 訓練防災教育に係る指 導力・実践力の向上	実践 目標	・防災訓練を行う前に教員による打ち合わせを十分に行い、意識の高い訓練を行う。 ・救急救命講習の受講により、いかなる時にもまず生徒の命を守るという教職員の意識と技術を高める。	13%	25%	38%	0%	25%	
	実践的な安全教育への 取組	実践 目標	・家庭、関係機関との連携を深め、交通安全指導を強化し、自他の生命を尊重する意識を高める。	13%	63%	0%	0%	25%	
人権教育	人権教育推進体制への 取組	実践 目標	・3年間を見通した人権ロングホームルームの充実を図り、計画的に実施する。 ・年度末に人権教育推進部を中心に、年間の人権HRの実施内容などを検証する。	13%	50%	13%	0%	25%	
	確かな人権意識の育成	実践 目標	・人権HLや学校生活のすべての場面において、生との身近な問題から人権を尊重し合う態度を育てる。	13%	50%	13%	0%	25%	
情報教育	情報活用能力の育成	実践 目標	・教科「情報」を中心に生徒の情報活用能力の育成を図る。 ・情報機器の適切な取り扱いと、情報ネットワークの創造的な活用法を身につけさせる。	0%	63%	0%	0%	38%	
	情報モラルの育成	実践 目標	・情報や情報通信技術が果たしている役割や影響を理解させ、情報発信に伴う責任など情報モラルを育成する。 ・人権尊重を基盤として、プライバシーの保護や著作権の尊重等の重要性を考えさせ、出会い系サイトやインターネットショッピング等に潜む危険性について指導する。	13%	63%	0%	0%	25%	
	情報機器や情報通信 ネットワークの活用	実践 目標	・教科毎にインターネットを使った授業を工夫する。	0%	38%	25%	0%	38%	
国際理解 教育	他国の歴史や文化の理 解	実践 目標	・関連教科において、他国の歴史や文化について理解を深める。 ・海外研修旅行に向けての事前事後学習で、訪問国の歴史・文化・生活習慣等を調べる。	0%	50%	25%	0%	25%	

育	環境・福祉教育	高齢者や障がいのある人などへの理解を深める指導の推進	実践目標	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設との交流や奉仕活動を通して、福祉に対する意欲や関心を持たせ、日常的に福祉活動に取り組んでいくよう指導する。 ・命の大切さや思いやりの心など福祉に対する心、福祉への理解。福祉活動に取り組んでいく意欲や態度を育てる。 	38%	50%	0%	0%	13%
		環境・福祉体験活動等の推進	実践目標	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会の実施や、福祉及び環境に関するロングホームルームの機会をもち、課題研究のテーマ設定につなげていく。 ・ゴミ・リサイクル・省エネルギーなどの身近な問題から環境への関心を高め、よりよい環境を創造するための実践力を育てる。 	13%	13%	50%	0%	25%
	学校の個性化・多様化	特色ある教育課程の編成	実践目標	<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心や進路希望等に対応した類型を設置し、その教育目標・教育課程・年間計画を明確にする。 ・地域人材・有識者等の特別非常勤講師を招聘し、類型の特色化を推進する。 	13%	50%	38%	0%	0%
		外部講師の活用	実践目標	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師との詳細な打ち合わせを行い、より効果的な運用を図る。 ・外部教員の活用を促進するため、組織的に取り組めるような体制を整える。 ・生徒の多様な興味・関心に応えるとともに、より高度な授業内容を位置づけ、発展的な学習活動を展開する。 	13%	50%	13%	0%	25%
		インターンシップ及び職業体験	実践目標	各科の技術検定・ワープロ検定・などの資格取得をめざす。	38%	38%	0%	0%	25%